



## 安全データシート

Copyright, 2023, 3M Company. All right reserved. 本情報は、3M社の製品を適切にご使用頂くために作成したものです。複製および/またはダウンロードをする場合には、以下の条件をお守り下さい。(1) 3M社から書面による事前承認を得ることなく情報を変更したり、一部を抜粋して使用しないで下さい。(2) 本情報を営利目的で転売または配布をしないで下さい。

SDS番号	10-7930-0	版	2.00
発行日	2023/09/12	前発行日	2021/02/17

この安全データシートはJIS Z7253:2019に対応しています。

### 1. 化学品及び会社情報

#### 1.1. 化学品の名称

コンサイス™ 光重合型ホワイトシーラント

#### 1.2. 推奨用途及び使用上の制限

##### 推奨用途

歯科用製品

##### 使用上の制限

歯科医療者による使用に限定

#### 1.3. 会社情報

供給者	スリーエム ジャパン株式会社
所在地	本社 東京都品川区北品川6-7-29
担当部門	歯科用製品事業部
電話番号	042-770-3725

### 2. 危険有害性の要約

#### GHS分類

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性： 区分 2 B

皮膚感作性： 区分 1

水生環境有害性 短期（急性）： 区分 3

#### GHSラベル要素

##### 注意喚起語

警告

##### シンボル

感嘆符

ピクトグラム



危険有害性情報

H320	眼刺激
H317	アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
H402	水生生物に有害

注意書き

安全対策

P261	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。
P280E	保護手袋を着用すること。
P264	取扱後はよく洗うこと。
P272	汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
P273	環境への放出を避けること。

応急措置

P305 + P351 + P338	眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
P337 + P313	目の刺激が続く場合：医師の診断／手当てを受けること。
P302 + P352	皮膚に付着した場合：多量の水と石けん（鹼）で洗うこと。
P333 + P313	皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
P362 + P364	汚染された衣類を脱ぐこと。再利用する場合は洗うこと。
P321	特別な処置が必要である（このラベルの説明を見よ）。

廃棄

P501	内容物／容器を国際、国、都道府県、市町村の規則に従って廃棄すること。
------	------------------------------------

### 3. 組成及び成分情報

この製品は混合物です。

成分	CAS番号	重量%
トリエチレングリコールビスメタクリレート	109-16-0	45 - 55
ジメタクリル酸ビスフェノールAジグリシジルエーテル	1565-94-2	40 - 50
シラン処理シリカ	68611-44-9	5.0 - 10
メタクリル酸3-(トリメトキシシリル)プロピルと酸化チタンによる加水分解生成物	404362-17-0	< 1.0
トリフェニルアンチモン	603-36-1	0.33

## 4. 応急措置

### 応急措置

#### 吸入した場合

新鮮な空気の環境に移動させる。気分がすぐれない場合は医療機関を受診する。

#### 皮膚に付着した場合

直ちに多量の水で15分以上洗浄する。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。症状が続く場合は医療機関を受診する。

#### 眼に入った場合

直ちに多量の水で洗浄する。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。症状が続く場合には医療機関を受診する。

#### 飲み込んだ場合

口をゆすぐ。気分が悪い時は医療機関を受診する。

#### 予想できる急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状

重大な症状や影響はない。毒物学的影響に関する情報はセクション11を参照する。

#### 応急措置を要する者の保護に必要な注意事項

適用しない。

## 5. 火災時の措置

### 消火剤

火災の場合： 消火するために水あるいは泡消火薬剤などの、通常の燃焼物質用の消火薬剤を使用すること。

### 使ってはならない消火剤

情報なし。

### 特有の危険有害性

本製品では予想されない。

### 有害な分解物または副生成物

#### 物質

一酸化炭素

二酸化炭素

#### 条件

燃焼中

燃焼中

### 消火作業者の保護

ヘルメット、自給式の陽圧ないし加圧式呼吸装置、バンカーコート及びズボン、腕、腰及び脚の周りのバンド、顔面マスク、及び頭部の露出部分の保護カバーを含む完全保護衣服を着用する。

## 6. 漏出時の措置

### 人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置

区域から退避させること。新鮮な空気ですその場所を換気する。大量に漏洩した場合、あるいは狭小な場所で

漏洩した場合は、安全衛生手順にしたがって、蒸気の拡散、排出のための強制換気を行う。 物理的有害性、健康有害性、呼吸保護、換気、個人防護については本SDSの他の項目を参照。

### 環境に対する注意事項

環境への放出を避けること。

### 封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏洩を止める。 漏洩した物質を出来る限り多く回収する。 密閉容器に収納する。 有資格者・専門家が選択した適切な溶剤を使用し、残留物を清掃する。 新鮮な空気に換気する。 溶剤のラベルとSDSを参照し、安全な取り扱い方法に従う。 容器を密封する。 回収した物質は、国内外の法令や規則にしたがって、できるだけ早く廃棄する。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

### 取扱い

取り扱い時に直接触れない。 皮膚に触れた場合には石鹼と水でよく洗う。 含有するアクリレートは通常の手袋を透過する。 本製品が手袋に触れた場合は手袋を廃棄し、直ちに手を石鹼で洗い、新しい手袋と交換する。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱後はよく洗うこと。 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。 環境への放出を避けること。 汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。 眼に入れない。

### 保管

特別な貯蔵条件はない。

## 8. ばく露防止及び保護措置

### 管理項目

### 許容濃度及び管理濃度

セクション3に表示されている成分名が、以下の表に見当たらない場合は、当該成分についての適切な作業時の許容濃度または管理濃度がないことを示している。

成分	CAS番号	政府機関	許容濃度または管理濃度	備考
ハイドロキノン	123-31-9	ACGIH	TWA : 1 mg/m <sup>3</sup>	A: 動物における発がん性あり、皮膚感作性あり
ハイドロキノン	123-31-9	JSOH OELs	限界値は未設定	皮膚感作性のおそれ。
アンチモン化合物	603-36-1	ACGIH	TWA (アンチモンとして) : 0.5 mg/m <sup>3</sup>	
アンチモン化合物、スチビンを除く	603-36-1	JSOH OELs	TWA (アンチモンとして) (8時間) : 0.1 mg/m <sup>3</sup>	

ACGIH : American Conference of Governmental Industrial Hygienists

AIHA : American Industrial Hygiene Association

ISHL : 労働安全衛生法作業環境評価基準

JSOH OELs : 日本産業衛生学会許容濃度

TWA : 時間加重平均値

STEL : 短時間ばく露限界値

ppm : 百万分率

mg/m<sup>3</sup> : ミリグラム/立方メートル

CEIL : 天井値

## ばく露防止策

### 設備対策

よく換気されたエリアで使用する。

### 保護具

#### 眼の保護具

ばく露評価結果に準じた眼・顔の保護具を選択・使用する。下記の眼・顔の保護具を推奨する。  
サイドシールド付安全メガネ

#### 皮膚及び身体の保護具

皮膚の保護についてはセクション7を参照。

#### 呼吸用保護具

特に必要としない。

## 9. 物理的及び化学的性質

### 基本的な物理・化学的性質

外観	液体
物理的状态:	粘調
色	白色
臭い	わずかなアクリル臭
臭いの閾値	データはない。
pH	適用しない
融点・凝固点	適用しない
沸点, 初留点及び沸騰範囲	データはない。
引火点	引火点>93℃
蒸発速度	適用しない
引火性 (固体、ガス)	適用しない
燃焼点 (下限)	データはない。
燃焼点 (上限)	データはない。
蒸気圧	適用しない
蒸気密度/相対蒸気密度	適用しない
密度	データはない。
比重	1.17 [参照基準: 水=1]
溶解度	なし。
溶解度 (水以外)	データはない。
n-オクタノール/水分配係数	データはない。
発火点	データはない。
分解温度	データはない。
粘度/動粘度	700 mPa-s
揮発性有機化合物	データはない。
揮発分	適用しない
水と規制除外の溶剤を除いた揮発性有機化合物	データはない。

(JIS-GHSの要求項目ではない)	
モル重量	データはない。

#### ナノパーティクル

この製品はナノパーティクルを含有する。

## 10. 安定性及び反応性

#### 反応性

この物質は、通常の使用条件下では、非反応性であると考えられる。

#### 化学的安定性

安定。

#### 危険有害反応の可能性

有害な重合反応は起こらない。

#### 避けるべき条件

光。

#### 混触危険物質

未確定

#### 危険有害な分解物

##### 物質

知見はない。

##### 条件

セクション5の燃焼中の有害な分解物を参照

## 11. 有害性情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しない場合があります。また、成分の含有量が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、含有成分の毒性情報が、製品の区分、ばく露時の兆候や症状に一致しないことがあります。

#### 毒性学的影響に関する情報

##### ばく露による症状

組成の試験結果や情報より、下記の健康影響が考えられる。

##### 吸入した場合

本品は特異臭を持つが、健康への影響は予想されない。

##### 皮膚に付着した場合

軽度の皮膚刺激：局所的な発赤、腫脹、かゆみ、乾燥などの症状。皮膚過敏症のヒトにおける非光感作性アレルギー皮膚反応：発赤、腫脹、水疱形成、かゆみなどの症状。

### 眼に入った場合

中程度の眼の刺激： 発赤、腫脹、痛み、流涙、眼のかすみなどの症状。

### 飲み込んだ場合

胃腸への刺激： 腹痛、胃痛、吐き気、嘔吐、下痢などの症状。

### その他健康影響情報

#### 発がん性

以下の健康影響の原因になるような暴露は、通常の用途では予想されない：

発がん性のある化学物質を、単体あるいは混合物として含有する。

#### 毒性データ

セクション3に開示されている化学成分で以下に情報が無い場合は、そのエンドポイントに対して利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い場合があります。

#### 急性毒性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
製品全体	経口摂取		利用できるデータが無い：ATEで計算。5,000 mg/kg
トリエチレングリコールビスメタクリレート	皮膚	専門家による判断	LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
トリエチレングリコールビスメタクリレート	経口摂取	ラット	LD50 10,837 mg/kg
ジメタクリル酸ビスフェノールAジグリシジルエーテル	皮膚	専門家による判断	LD50 推定値 > 5,000 mg/kg
ジメタクリル酸ビスフェノールAジグリシジルエーテル	経口摂取	ラット	LD50 > 11,700 mg/kg
シラン処理シリカ	皮膚	ウサギ	LD50 > 5,000 mg/kg
シラン処理シリカ	吸入-粉塵/ミスト (4時間)	ラット	LC50 > 0.691 mg/l
シラン処理シリカ	経口摂取	ラット	LD50 > 5,110 mg/kg
メタクリル酸3-(トリメトキシシリル)プロピルと酸化チタンによる加水分解生成物	皮膚	ウサギ	LD50 > 10,000 mg/kg
メタクリル酸3-(トリメトキシシリル)プロピルと酸化チタンによる加水分解生成物	吸入-粉塵/ミスト (4時間)	ラット	LC50 > 6.82 mg/l
メタクリル酸3-(トリメトキシシリル)プロピルと酸化チタンによる加水分解生成物	経口摂取	ラット	LD50 > 10,000 mg/kg
トリフェニルアンチモン	吸入-粉塵/ミスト		LC50 推定値 1 - 5 mg/l
トリフェニルアンチモン	皮膚	ラット	LD50 > 2,000 mg/kg
トリフェニルアンチモン	経口摂取	ラット	LD50 82.5 mg/kg
ハイドロキノン	皮膚	ラット	LD50 > 4,800 mg/kg
ハイドロキノン	経口摂取	ラット	LD50 302 mg/kg

ATE=推定急性毒性

#### 皮膚腐食性/刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
トリエチレングリコールビスメタクリレート	モルモット	軽度の刺激
ジメタクリル酸ビスフェノールAジグリシジルエーテル	ウサギ	刺激性なし

コンサイス™ 光重合型ホワイトシーラント

シラン処理シリカ	ウサギ	刺激性なし
メタクリル酸3-(トリメトキシシリル)プロピルと酸化チタンによる加水分解生成物	ウサギ	刺激性なし
トリフェニルアンチモン	ウサギ	わずかな刺激
ハイドロキノン	ヒト及び動物	わずかな刺激

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性

名称	生物種	値又は判定結果
トリエチレングリコールビスメタクリレート	専門家による判断	中程度の刺激
ジメタクリル酸ビスフェノールAジグリシジルエーテル	In vitro data	刺激性なし
シラン処理シリカ	ウサギ	刺激性なし
メタクリル酸3-(トリメトキシシリル)プロピルと酸化チタンによる加水分解生成物	ウサギ	刺激性なし
トリフェニルアンチモン	ウサギ	軽度の刺激
ハイドロキノン	ヒト	腐食性

呼吸器感作性または皮膚感作性

皮膚感作性

名称	生物種	値又は判定結果
トリエチレングリコールビスメタクリレート	ヒト及び動物	感作性あり
ジメタクリル酸ビスフェノールAジグリシジルエーテル	マウス	区分に該当しない。
シラン処理シリカ	ヒト及び動物	区分に該当しない。
メタクリル酸3-(トリメトキシシリル)プロピルと酸化チタンによる加水分解生成物	ヒト及び動物	区分に該当しない。
ハイドロキノン	モルモット	感作性あり

呼吸器感作性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無い、分類するに十分なデータが無い。

生殖細胞変異原性

名称	経路	値又は判定結果
トリエチレングリコールビスメタクリレート	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
ジメタクリル酸ビスフェノールAジグリシジルエーテル	In vitro	変異原性なし
シラン処理シリカ	In vitro	変異原性なし
メタクリル酸3-(トリメトキシシリル)プロピルと酸化チタンによる加水分解生成物	In vitro	変異原性なし
メタクリル酸3-(トリメトキシシリル)プロピルと酸化チタンによる加水分解生成物	In vivo	変異原性なし
ハイドロキノン	In vitro	陽性データはあるが、分類には不十分。
ハイドロキノン	In vivo	陽性データはあるが、分類には不十分。

発がん性

名称	経路	生物種	値又は判定結果
トリエチレングリコールビスメタクリレート	皮膚	マウス	発がん性なし



シラン処理シリカ	特段の規定はない。	マウス	陽性データはあるが、分類には不十分。
メタクリル酸3-(トリメトキシシリル)プロピルと酸化チタンによる加水分解生成物	経口摂取	多種類の動物種	発がん性なし
メタクリル酸3-(トリメトキシシリル)プロピルと酸化チタンによる加水分解生成物	吸入した場合	ラット	発がん性
ハイドロキノン	皮膚	マウス	発がん性なし
ハイドロキノン	経口摂取	多種類の動物種	陽性データはあるが、分類には不十分。

## 生殖毒性

### 生殖発生影響

名称	経路	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
トリエチレングリコールビスメタクリレート	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	マウス	NOAEL 1 mg/kg/日	1 世代
トリエチレングリコールビスメタクリレート	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	マウス	NOAEL 1 mg/kg/日	1 世代
トリエチレングリコールビスメタクリレート	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	マウス	NOAEL 1 mg/kg/日	1 世代
ジメタクリル酸ビスフェノールAジグリシジルエーテル	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/日	妊娠期間中
シラン処理シリカ	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 509 mg/kg/日	1 世代
シラン処理シリカ	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 497 mg/kg/日	1 世代
シラン処理シリカ	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,350 mg/kg/日	器官発生期
ハイドロキノン	経口摂取	雌について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 150 mg/kg/日	2 世代
ハイドロキノン	経口摂取	雄について生殖毒性は区分に該当しない。	ラット	NOAEL 150 mg/kg/日	2 世代
ハイドロキノン	経口摂取	発生毒性区分に該当しない。	ラット	NOAEL 100 mg/kg/日	器官発生期

## 標的臓器

### 特定標的臓器毒性、単回ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
ハイドロキノン	経口摂取	神経系	臓器障害のおそれ	ラット	NOAEL 非該当	適用しない。
ハイドロキノン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 400 mg/kg	適用しない。

### 特定標的臓器毒性、反復ばく露

名称	経路	標的臓器	値又は判定結果	生物種	試験結果	ばく露期間
トリエチレングリコールビスメタクリレート	皮膚	腎臓および膀胱   血液	区分に該当しない。	マウス	NOAEL 833 mg/kg/day	78 週
ジメタクリル酸ビスフェノールAジグリシジルエーテル	経口摂取	内分泌系   造血器系   肝臓   心臓   皮膚   消化管   骨、歯、爪及び/又は毛髪   免疫システム	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 1,000 mg/kg/day	90 日

		筋肉   神経系   眼   腎臓および膀胱   呼吸器系   脈管系				
シラン処理シリカ	吸入した場合	呼吸器系   珪肺症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
メタクリル酸3-(トリメトキシシリル)プロピルと酸化チタンによる加水分解生成物	吸入した場合	呼吸器系	陽性データはあるが、分類には不十分。	ラット	LOAEL 0.01 mg/l	2 年
メタクリル酸3-(トリメトキシシリル)プロピルと酸化チタンによる加水分解生成物	吸入した場合	肺線維症	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく
ハイドロキノン	経口摂取	血液	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 非該当	40 日
ハイドロキノン	経口摂取	骨髄   肝臓	区分に該当しない。	ラット	NOAEL 非該当	9 週
ハイドロキノン	経口摂取	腎臓および膀胱	区分に該当しない。	ラット	LOAEL 50 mg/kg/day	15 月
ハイドロキノン	眼	眼	区分に該当しない。	ヒト	NOAEL 非該当	職業性被ばく

#### 誤えん有害性

セクション3に開示されている化学成分に対しては、利用できるデータが無いか、分類するに十分なデータが無い。

製品及び成分に関する追加の毒性情報が必要な場合には、本SDSの1ページに記載した住所、電話番号にご連絡ください。

## 12. 環境影響情報

セクション2で区分表示が義務付けられている特殊な成分を含有する場合には、下記の情報と一致しないことがあります。セクション2の分類に関する追加情報が必要な場合は、弊社にお問い合わせください。また、成分の環境中での運命及び有害性は、成分の含有が表示義務となる値以下の場合、成分のばく露が予想されない場合、あるいは製品全体を考慮した場合に、この項の内容と一致しないことがあります。

#### 生態毒性

##### 水生環境有害性 短期（急性）

GHS水生環境有害性（急性）区分3：水生生物に有害。

##### 水生環境有害性 長期（慢性）

GHS分類では水生生物への慢性毒性はない。

製品での試験データは無い。

材料	CAS番号	生物種	種類	ばく露	テストエンドポイント	試験結果
トリエチレングリコールビスメタクリレート	109-16-0	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	>100 mg/l

トリエチレン グリコールビ スメタクリレ ート	109-16-0	ゼブラフィッ シュ	実験	96 時間	LC50	16.4 mg/l
トリエチレン グリコールビ スメタクリレ ート	109-16-0	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	18.6 mg/l
トリエチレン グリコールビ スメタクリレ ート	109-16-0	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	32 mg/l
ジメタクリル 酸ビスフェノ ールAジグリ シジルエーテ ル	1565-94-2	鯉	類似コンパウ ンド	96 時間	水への溶解限 界において毒 性は見られな い	>100 mg/l
ジメタクリル 酸ビスフェノ ールAジグリ シジルエーテ ル	1565-94-2	緑藻類	エンドポイン トに達しな い。	96 時間	EC50	>100 mg/l
ジメタクリル 酸ビスフェノ ールAジグリ シジルエーテ ル	1565-94-2	緑藻類	実験	96 時間	EC10	1.1 mg/l
シラン処理シ リカ	68611-44-9	該当なし	分類にデータ が利用できな い、あるいは 不足してい る。	該当なし	該当なし	該当なし
メタクリル酸 3-(トリメト キシシリル) プロピルと酸 化チタンによ る加水分解生 成物	404362-17-0	該当なし	分類にデータ が利用できな い、あるいは 不足してい る。	該当なし	該当なし	該当なし
ハイドロキノ ン	123-31-9	液状化	実験	2 時間	IC50	71 mg/l
ハイドロキノ ン	123-31-9	緑藻類	実験	72 時間	ErC50	0.053 mg/l
ハイドロキノ ン	123-31-9	ニジマス	実験	96 時間	LC50	0.044 mg/l
ハイドロキノ ン	123-31-9	ミジンコ	実験	48 時間	EC50	0.061 mg/l
ハイドロキノ ン	123-31-9	ファットヘッ ドミノウ	実験	32 日	NOEC	>=0.066 mg/l

		(魚)				
ハイドロキノ ン	123-31-9	緑藻類	実験	72 時間	NOEC	0.0015 mg/l
ハイドロキノ ン	123-31-9	ミジンコ	実験	21 日	NOEC	0.0029 mg/l
トリフェニル アンチモン	603-36-1	該当なし	分類にデータ が利用できな い、あるいは 不足してい る。	該当なし	該当なし	該当なし

残留性・分解性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
トリエチレン グリコールビ スマタクリレ ート	109-16-0	実験 生分解 性	28 日	二酸化炭素の 発生	85 C02発生量 /理論C02発生 量%	OECD 301B - 修正シ ュツルム試験又は二 酸化炭素
ジメタクリル 酸ビスフェノ ールAジグリ シジルエーテ ル	1565-94-2	実験 生分解 性	28 日	生物学的酸素 要求量	21 %BOD/ThOD	OECD 301F類似法
ジメタクリル 酸ビスフェノ ールAジグリ シジルエーテ ル	1565-94-2	実験 加水分 解		加水分解性半 減期 (pH7)	29 日 (t 1/2)	
シラン処理シ リカ	68611-44-9	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
メタクリル酸 3-(トリメト キシシリル) プロピルと酸 化チタンによ る加水分解生 成物	404362-17-0	データ不足	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ハイドロキノ ン	123-31-9	実験 生分解 性	14 日	生物学的酸素 要求量	70 %BOD/ThOD	OECD 301C-MITI (1)
トリフェニル アンチモン	603-36-1	類似コンパウ ンド 生分解 性	28 日	生物学的酸素 要求量	<20 %BOD/Tho D	OECD 301F

生体蓄積性

材料	CAS番号	試験の種類	期間	試験の種類	試験結果	プロトコル
トリエチレン グリコールビ	109-16-0	実験 生態濃 縮		オクタノール /水 分配係	2.3	EC A.8 Partition Coefficient

スメタクリレート				数		
ジメタクリル酸ビスフェノールAジグリシジルエーテル	1565-94-2	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	4.63	
シラン処理シリカ	68611-44-9	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
メタクリル酸3-(トリメトキシシリル)プロピルと酸化チタンによる加水分解生成物	404362-17-0	分類にデータが利用できない、あるいは不足している。	該当なし	該当なし	該当なし	該当なし
ハイドロキノン	123-31-9	実験 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	0.59	
トリフェニルアンチモン	603-36-1	推定値 生態濃縮		オクタノール/水 分配係数	6.02	EPI suite™

土壤中の移動性  
データはない。

オゾン層への有害性  
データはない。

### 13. 廃棄上の注意

#### 廃棄方法

関係法令に従って、産業廃棄物として自社で処分するか産業廃棄物処理業者に委託して処分する。

### 14. 輸送上の注意

#### 国内規制がある場合の規制情報

船舶及び航空輸送上の危険物には該当しない。(国際連合危険物に該当しない) 取り扱い及び保管上の注意の項の記載による他、消防法などの法令の定めるところに従う。

### 15. 適用法令

#### 国内法規制及び関連情報

日本国内法規制 (主な適用法令)

労働安全衛生法：危険性又は有害性等を調査(リスクアセスメント)すべき物（法第 57 条の 3）  
 労働安全衛生法：施行令 18 条の 2 名称等を通知すべき有害物  
 労働安全衛生法：施行令 18 条有害物質（表示物質）  
 消防法：第四類第三石油類

主な法規制物質

労働安全衛生法：通知・リスクアセスメント・表示義務対象物質

成分	法律又は政令名称	2024年3月31日まで	2024年4月1日以降
トリフェニルアンチモン	アンチモン及びその化合物 (三酸化二アンチモンを除く。)	該当	該当

16. その他の情報

改訂情報

- 使用上の制限 情報の追加.
- セクション 1：製品用途 情報の追加.
- セクション 2：環境影響ステートメント 情報修正.
- セクション 2：GHS分類 情報修正.
- セクション 2：健康有害性 情報修正.
- セクション 2：注意書き - 安全対策 情報修正.
- セクション 2：注意書き - 応急措置 情報修正.
- セクション 3：成分表 情報修正.
- セクション 5：火災時情報（消火剤） 情報修正.
- セクション 6：事故漏出時の人体に対する注意事項 情報修正.
- セクション 7：取り扱い時の安全注意喚起情報 情報修正.
- セクション 8：mg/m3 記号 情報の追加.
- セクション 8：保護具 - 眼 情報修正.
- セクション 8：ppm 記号 情報の追加.
- セクション 9：融点/凝固点 情報修正.
- セクション 9：蒸発速度情報 情報修正.
- セクション 9：燃焼性（固体、ガス）情報 情報修正.
- セクション 9：色 情報修正.
- セクション 9：揮発分 情報修正.
- セクション 9：pH情報 情報修正.
- セクション 9：蒸気密度/相対蒸気密度 情報修正.
- セクション 9：蒸気圧 情報修正.
- セクション 10：燃焼中の有害な分解物 情報の追加.
- セクション 11：急性毒性の表 情報修正.
- セクション 11：発がん性の表 情報修正.
- セクション 11：生殖胞変異原性の表 情報修正.
- セクション 11：生殖毒性の表 情報修正.
- セクション 11：重篤な眼へのダメージ/刺激の表 情報修正.
- セクション 11：皮膚腐食性/刺激性の表 情報修正.
- セクション 11：皮膚感作性の表 情報修正.
- セクション 11：標的臓器 - 反復ばく露の表 情報修正.
- セクション 11：標的臓器 - 単回ばく露の表 情報修正.

- セクション 1 2 : 成分生態毒性情報 情報修正.
- セクション 1 2 : 残留性および分解性の情報 情報修正.
- セクション 1 2 : 生態濃縮性情報 情報修正.
- セクション 1 4 : 輸送上の注意の標準フレーズ 情報修正.
- セクション 1 5 : 労働安全衛生法の表 情報の追加.
- セクション 1 5 : 法規名 - 表 情報の削除.
- セクション 1 5 : 適用法規のステートメント 情報修正.

免責事項：この安全データシート（SDS）の情報は、発行時における当社の知見に基づき正確であると考えていますが、当社は、その使用から生じる損失、損害または傷害に関する賠償責任を引き受けるものではありません。

（法令で要求される場合を除く）本SDSの記載内容は、記載されている範囲外の使用、あるいは他の物質と組み合わせての使用では効力を持ちません。これらの理由から、お客様がご自身の用途に製品が適合しているかどうかをご自身で評価することが重要です。加えて、本安全データシートは安全衛生情報もお伝えしております。日本国へ本製品を輸入されるお客様は、製品の登録・届出、物質量の監視、想定される物質の登録・届出を含む（これらに限定されるものではありません）適用される全ての法的要求について責任を負います。

**3MジャパングループのSDSは日本のウェブサイトから入手できます。**